

平成24年度 第1回文化財審議会会議
会 議 録

- 日 時 平成24年10月22日(月) 13:30～16:00
○場 所 八日市場ドーム 選手控え室
○出席委員 山崎貞幹会長、小川知至副会長、大野泰生委員、渡辺重雄委員、
加瀬靖之委員、井上俊仁委員、八木幸市委員、尾高宗一委員、
西山太郎委員
(9名)
○欠席委員 木内新委員(1名)
○事務局 池田教育長、佐藤生涯学習課長、米元生涯学習室長、
生涯学習班實川統括、田中

1. 開 会 米元室長が進行
2. 委嘱書交付
3. 教育長あいさつ 池田教育長
4. 役員(会長・副会長)選出
引き続き、山崎貞幹会長、小川知至副会長 選出
4. 議 事 山崎会長が議長として進行

(1)平成24年度文化財関係事業について

併せて、昨年度実施した多古田低地遺跡確認調査について報告

(2)市指定有形文化財「妙廣寺」釈迦堂修理について

現状視察後、審議

【審議結果】指定解除には至らないが、修理前の姿に近づけるよう、
古色を施す、縁下の壁塗を連子板に戻すなど、対策をするよう勧告をする

(3)「老尾神社」の指定について

前回の文化財審議会からの引き続き協議事項

【審議結果】建物の指定は難しいが、史跡としての価値はあるため、
今後指定に向けて、検討する

検討する中で、問題が発生した場合は、再度文化財審議会を開催する

(4) その他

「飯高寺」の資料について

宗宝調査が行われている飯高寺を現地視察

板本尊・妙見菩薩像・古活字が新たに発見されたとのこと

5. 閉 会

協議内容

議事(1)

委員：昨年度の多古田遺跡確認調査では、どの範囲を発掘したのか。
また、何か見つかったのか。

事務局：圃場整備に伴う田圃切土の5%部分を掘削した。

発見された物として、縄文時代前期の土器—ただし、これは生活した跡ではなく、他から流れてきたものと思われる—、鯨の肩甲骨などがあった。

以前に発掘調査があった部分は、圃場整備から除き、保存してある。

議事(2)

委員：屋根及び欄間彫刻はそのまま残っているが、舞良戸などの建具と縁下部分が新しくなっており、上半分と下半分が分けられたように修理されている。

委員：以前に使用されていた板を利用することもできたのではないか。

委員：今後、古色に塗る、縁下部分の壁を板に戻すなど、勧告をすべきではないか。

委員：教育委員会が指導をし、所有者は従ったのか。

事務局：修理実施時に、建造物の修理について所有者と話をしているが、本日視察したとおりである。

委員：罰則は無く、できることに限りはある。

委員：この修理を見過ごすと、市の文化財に対する姿勢も問われるのではないか。

委員：茅葺屋根・欄間彫刻は素晴らしく、解除までには至らないが、なんらかの形で勧告などをすべきではないか。

委員：今後、古色を施すなど、修理前の姿に近づける努力をするよう勧告し、応じない場合は、再度審議会を開催するということがか。

委員：(賛成多数)

協議(3)

委員：前回、指定の種類としては、建造物か史跡か2通りあり、建造物の場合難しいということだったが、史跡としてはいかがか。

委員：歴史的な場所であり、石造物などもあり、史跡として指定する価値はあるのではないか。

式内社としては、成田市のみ指定があるということだったか。

委員：要望があったのは、建物としての指定か、史跡としての指定か。

事務局：前回は説明したとおり、成田市麻賀多神社のみで、建物は指定ではなく、史跡としての指定である。

要望書では、二棟とあり、建物とも、史跡とも受け取れる内容となっている。

史跡とすると、市の補助の建物への修理は、対象から外れる。

委員：今後、史跡としての指定につなげる方向で進め、問題が発生した場合は、再度審議会を開いてはどうか。

委員：(賛成多数)

詳細は別添会議資料による